

◇業務の流れ

①準備

- ・健診開始時間の 30 分前に会場に入り準備開始
- ・『採血業務の留意事項』を確認の上サインして頂き、班長に提出
- ・採血機材をセッティングし、タブレットとプリンターを準備
- ・健診前のミーティングにて流れ、注意事項等の確認

②健診開始

- ・受診者が来たら挨拶をし、本人確認をする
- ・受診票の右下の QR コードをタブレットのスキヤナーで読み取る
- ・タブレットに受診票 2 枚目の食事時間(4 ケタ 24 時間法)を入力し、追加項目の有無を確認

*追加項目は生化項目によって必要本数が変わります

オプション項目が事前申し込みの場合は、タブレット画面に警告がでます。

『追加の血液検査の必要本数について』と

『オプション用紙』を参考にしてください

- ・追加があった場合は再印刷をして必要枚数採血シールを印刷する

- ・ 受診者に印刷した採血シールを見せて名前を確認してもらい、スピッツに貼る
 - ・ 基本肘関節にて採血し、止血ベルトにて止血
 - * 肘関節で採血困難な方や 3 回目採血の方は受診者様に説明してから『同意書』に記入してもらい、他スタッフ又は班長に渡す
- (2 回目までは良く、3 回目は同意書を記入してもらい採血者を交代する。1 回目で無理をせず、交代してもらう)
- * ベッド採血希望等あった場合は『営業メモ』を記入し提出
 - ・ 止血ベルトの回収先(朝のミーティングで確認)を伝え、受診票の採血欄に捺印
 - ・ 次の検査項目と、番号を伝えご案内(朝のミーティングで確認)

③健診終了後

- ・ 日報に採血番号と採血本数を記入
- * 追加があった場合は、受診票と照らし合わせて確認後、追加本数を記入
- ・ 採血機材及びタブレット、プリンターの片づけ
- ・ 検体をクーラーボックスに保存
- ・ 機材をバス等に積み込み、消耗品等何か気付いたことを報告

* 採血時の注意事項 *

- ・ 穿刺後逆血がない場合、穿刺状態で針を動かし血管を探すことは、絶対しない(直ちに針を抜き、再採血させてもらう)
- ・ 採血中は、痛み・しびれの有無、気分不良の有無を確認し、しびれがある場合は直ちに抜針する事
- ・ 痛みの場合で採血できてるときは、抜針し再度採血するか、続行可能か本人に確認する事
- ・ 腫れ、痛み、しびれ、内出血、気分不良などあった場合は、必ずDrに診てもらい、『採血後の処置に関する内容詳細』を記入する(診察時に同行して説明を聞く)

* 採血手順書を参照し、実施する